

実践報告 (Report)

# 自作絵本「幸せちょきん」とルーブリック評価表を用いた道徳の授業実践 Lesson of Moral Education using Self-made Picture Book “Saving of Happiness” and Rubric Evaluation Table

丹羽菜月<sup>1</sup>・山田真紀<sup>2</sup>  
NIWA Natsuki<sup>1</sup>, YAMADA Maki<sup>2</sup>

キーワード：道徳の授業，絵本，ルーブリック評価表

Key words: Lesson of Moral Education, Picture Book, Rubric Evaluation Table

## 1 研究の目的と方法

文部科学省は、他の教科や領域に先立ち、平成27年（2015年）3月に学校教育法施行規則の一部改正と学習指導要領の改訂を行い、道徳を、領域の「道徳」から「特別の教科道徳」に改訂した。ここでは「読み物の登場人物の心情理解にのみ偏った形式的な指導」を超えて、「考える道徳」「議論する道徳」が目指されている<sup>1)</sup>。

新しい学習指導要領は、小学校では平成30年（2018年）、中学校では平成31年（2019年）に全面実施されることになり、それにあわせて検定教科書が準備された。これまで道徳に教科書はなく、道徳の教材は副読本のみ時代（1958～2001年度）、副読本と文部科学省編集の「心のノート」併用の時代（2002～2013年度）、文部科学省編集の道徳の教科書「私たちの道徳」の時代（2014年度から検定教科書導入まで）と変遷してきた。「心のノート」は主にワークシートからなり、自分との対話や友達との対話のなかで明らかになったことを記入する形式であり、それを一部踏襲した「私たちの道徳」では、読み物資料とワークシートが併用される構成であった。しかしながら、検定教科書では、読み物資料がほとんどのページを占め、道徳的な判断力を鍛えたり、友達と議論したりできる葛藤を含む資料もないわけではないものの、道徳的な価値を読み取らせる資料が主となる構成である。「特別の教科」になることで教科書が準備され、教える内容の標準化が図られた一方で、指導者が注意深く教材を扱わないと、目指された「考える道徳」「議論する道徳」ではなく、かえって「読み物の登場人物の心情理解」を通して、読み物が伝えたい道徳的価値を読み取るだけの授業になりかねないというパラドックスを抱えることになった。

そこで、本研究では、小学校1年生から中学校3年生に至るまでの幅広い年齢層に利用でき、批判的に内容を検討したり、友達と議論したりすることのできる教材の作成に取り組

むことにした。近年、「負けるかもしれないこと、失敗するかもしれないことには挑戦したくない」と考える子どもが増え、レジリエンス（挫折に負けない強い心）の育成が急務となっている<sup>2)</sup>。また、「自分さえよければそれでいい」と利己的・自己中心的な考えを持つ子どもに「他者の幸せ・社会の福利」を願う気持ちを育てるべきことは、コールバーグの自己中心的視点から、より社会的視点を経て、原理的な視点へと移行するとする「道徳性発達理論」を待たずとも明白である<sup>3)</sup>。

そこで、我々は「挫折に負けない心」「他者を助けたいと思う心」の育成を目指し、学習指導要領に示されている扱うべき「内容」のうち、「A主として自分自身に関すること」の[希望と勇気、努力と強い意志]、「B主として人との関わりに関すること」の[親切、思いやり][感謝]に関連する教材を作成することにした。

また、教材は読み物資料ではなく、絵本の体裁をとることにした。絵本は幅広い年齢層に分かりやすく物語を伝えることのできる媒体であり、特に、「多文化共生」「正義」「人権」など、子どもにとって難しい概念を子ども達の生活世界に引き寄せ、分かりやすい表現で伝えることのできる優れた教材である。これまでも道徳教育に生かすうる優れた絵本が数多く出版されている。例えば、坂本義喜・内田美智子『いのちをいただく：みいちゃんがお肉になる日』講談社2013年（命の授業・食育・キャリア教育）、TERUKO『さかさま』デイスカヴァー・トゥエンティワン2015年（多文化理解・多文化共生）、マックス・ルケード『たいせつなきみ』いのちのことば社1998年（自己肯定感）、くすのきしげのり『ええところ』学研プラス2012年（自己肯定感）、松谷みよ子『わたしのいもうと』偕成社1987年（いじめ・人権教育）、レイフ・クリスチャンソン『わたしのせいじゃないーせきにんについて』岩崎書店2017年（いじめ・人権教育）、マーカス・フィスター『にじいろのさかな』講談社1995年（人間関係・他

<sup>1</sup> 横浜市立小学校教諭，<sup>2</sup> 椋山女学園大学教育学部

本実践報告は、椋山女学園大学教育学部紀要 投稿執筆規程2により査読を受けた。2021年10月1日受付，2021年12月7日受理。

者理解), きむらゆういち『あらしのよるに』講談社2000年(人間関係・多文化共生), リンダ・ハーン&スターン・ナイランド『王さまと王さま』ポット出版2015年(セクシャルマイノリティ・人権教育), たばたせいいち『さっちゃんのまほうのて』偕成社1985年(障害者理解・人権教育), 池田香代子「世界がもし100人の村だったら」マガジンハウス2001年(国際理解, 多文化共生), きむらゆういち『ひとりぼっちのガブ:あらしのよるにスペシャル』講談社2011年(正義, 親子関係)などをあげることができる。出版年の後ろの括弧には, それぞれの絵本が伝える価値について記した。

我々は, まずこれらの道徳に活かすう絵本の分析を行った。まず, 絵本には「伝えたい価値が誰にとっても明瞭で自己完結的なストーリー」と「葛藤をはらんでいて多くの解釈を許すオープンエンドなストーリー」の2種類がある。前者の代表は『ええところ』や『わたしのいもうと』であり, 『ええところ』は「誰にでもよいところがあるからそれを認めて大切にしよう」というメッセージを, 『わたしのいもうと』は, 「いじめは魂の殺人であることから決して許すことはできない」という明確なメッセージを伝えている。一方, 後者の代表は『さかさま』や『あらしのよるに』である。『さかさま』は立場の違うふたつの国が対立する話であり, その後, 2つの国がどのような世界を作り上げたかを最終頁の絵から読み解く仕掛け絵本となっており, 2つの国が最終頁の世界を作り上げたプロセスについて推測し, 話し合うことができる。『あらしのよるに』はおおかみと羊という捕食するものとされるものの友情は可能かという問題の提示で物語が終わっていて, その後の展開を子ども達が予測して議論することのできる絵本である。この2つの軸で絵本を分析すると, ほとんどが前者に属することが分かる。しかしながら, 「特別の教科道徳」の理念を大切に「考える道徳・議論する道徳」の題材とするためには, 後者のタイプの絵本が望ましいと考え, 我々が作成する絵本においては, ある価値を単純に伝えるのではなく, 批判的検討をしたり, 議論したりできる余地を残すように工夫することにした。

## 2 絵本の概要とループリック評価表

### 2.1 絵本の概要

絵本は紙芝居のかたちにとりまとめ, 巻末資料1に絵のサンプルを, 巻末資料2に文を掲載した。タイトルは「幸せちょきん」(以下, 「ちょきん」はスペースの関係から「貯金」と表記)であり, 内容は以下の通りである。「主人公のなっちゃんは, 最近, ついていないことが多い。なっちゃんに嫌なこと・悪いことが起こるたびに, 妖精のサッチーは“幸せ貯金”をためてくれているのだった。そして幸せ貯金が多まったころ, なっちゃんには幸運なこと・嬉しいことが起こり始める。不思議に思うなっちゃんの前に妖精のサッチーが現れ, 幸せ

貯金のしくみについて教えてくれる。それを聞いたなっちゃんは, たまった貯金を自分のために使おうとするが, 妖精のサッチーによると, なっちゃんが自分のために貯金を使うことはできないのだという。ただし, 人のためにならいつでも使えるよ, と言い残して去っていく妖精のサッチー。その後, なっちゃんは下校時に困っている低学年の男の子を見つけ, 男の子のために貯金を使おうと決意。そして男の子には幸せがもたらされたのだった。」

この物語には, 人生には思うに任せない不運なこと・嫌なことが起きることがあるが, 「きつと次にはよいことが起きるだろう」と希望をもってそれを乗り越え, 「挫折や辛いことに負けない心」を育ててほしいという願いを込めている。また, 幸運なこと・嬉しいことを起こすために, 手段的に貯金をためるのではなく, 嫌なこと・悪いことがいつかは幸運なこと・嬉しいことをもたらすということを理解してもらうため, 「自分が使いたいときに貯金を使うことはできない」という設定にし, さらに「他人を助けたいと思う心」を育てるために「人のためにならいつでも使える」という設定にした。

しかしながら, 「どんな嫌なこと・悪いことでも貯金はたまるのか。自分の不注意や怠惰によってもたらされた負の結果においても貯金はたまるのか」という疑問や, 「嫌なこと・悪いことが起きても, 貯金が多まったからいいや, と自ら課題を克服しようとしたり, 努力したりすることを放棄する子どもが育たないか」という懸念が残されている。そこで, この点については改良せず, それぞれの読み手が批判的に考える余地として残しておくことにした。

### 2.2 ループリック評価表の作成

「考える道徳・議論する道徳」の授業を目指すうえで大切なことは, 授業者が, 子ども達がどのように考え, どのように議論することを目標にするのかを明確にして, それぞれの子どもがその目標をどの程度達成できたのかを評価するものさしを持つことである。そうしないと, 授業内に議論する時間を設けたことをもって「考える」「議論する」が達成されたとする安易な実践となってしまう<sup>4)</sup>。そこで, 我々は授業実践に先立ち, ループリック評価表を作成することにした。ループリックとは, 「パフォーマンスの成功の度合いを示す尺度と, それぞれの尺度に見られるパフォーマンスの特徴を説明する記述語で構成される, 評価基準の記述形式<sup>5)</sup>」であり, ループリック評価表とは, 学習到達度を示す評価基準を, 観点と尺度からなる表として示したものである。

道徳の授業においては, 「物語の内容を十分に理解すること」と「物語を題材として批判的に思考すること」の2つを達成しなければならない。そこで「どのように理解するか」「どのように批判的に思考するか」という2つの観点を設定した。そして, 学習者が現在どの段階にいるかを評価できるように, 到達レベルを4段階に分けて内容を記し, これを尺度として

表1 ルーブリック評価表

	1	2	3	4
幸せ貯金についての理解と批判的思考	「幸せちょきん」の絵本の内容をおおむね理解している。	幸せ貯金をすると良いことが起こると理解している。	不幸・不運なことが起こっても、それがいつか良いことになって戻ってくるがあると理解している。	不幸・不運なことがなんでも良いことにつながるのではなく、自分の努力不足や悪意で起きたことは幸せ貯金につながらないことを理解している。
負の出来事を乗り越える希望と能動的態度	不幸・不運なことが起こった時に「幸せ貯金をした」と思うことができる。	不幸・不運なことが起こった時に「幸せ貯金をしたから、きっといいことが起こるはず」と希望を持つことができる。	不運・不幸なことが起こった時に「幸せ貯金をしたから、きっといいことが起こるはず」と希望を持ちつつ、その経験を糧に努力したり、次の方法を考えたることができる。	不運・不幸なことが起こった時に「幸せ貯金をしたから、きっといいことが起こるはず」と希望を持ちつつ、自分だけでなく他人にもいいことが起きるように願うことができる。

用いることにした。

第一の観点の「理解」については「幸せ貯金についての理解と批判的思考」とし、第一段階は「幸せ貯金の絵本の内容をおおむね理解している」で、第四段階は「不幸・不運なことがなんでも良いことにつながるのではなく、自分の努力不足や悪意で起きたことは幸せ貯金につながらないことを理解している」とした。第一の観点は、物語の趣旨を正しく理解できているかということと、趣旨を正しくとらえたうえでそれを批判的に考察できているかを評価するものである。

第二の観点の「批判的思考」については「負の出来事を乗り越える希望と能動的態度」とし、第一段階は「不幸・不運なことが起こった時に幸せ貯金をしたと思うことができる」で、第四段階は「不運・不幸なことが起こった時に幸せ貯金をしたから、きっといいことが起こるはずと希望を持ちつつ、自分だけでなく他人にもいいことが起きるように願うことができる」とした。第二の観点は、負の出来事があっても幸せ貯金の存在を想起しつつ希望をもって乗り越えることができると考えるかということと、幸せ貯金に依存するのではなく、能動的に負の出来事を乗り越えようとする主体性を持つとともに、他者の幸せを願うという発想がもてるかどうかを評価するものである。

このルーブリック評価表を用いて、小学校1年生から大学生までの幅広い年齢層の人々に絵本の読み聞かせをし、感想や考えたことを尋ね、その回答内容を分析した(表1)。

### 3 実践研究1：年齢段階別にみる物語の理解と解釈

この絵本とルーブリック評価表を用いて、ふたつの実践的な研究を行った。ひとつは、幅広い年齢層の対象者に読み聞かせをして、発達段階によって絵本の理解や解釈が異なるのかを検証するもの、もうひとつは、小学校2年生の「特別の教科道徳」の授業においてこの「幸せちょきん」の絵本を用

いて授業をして、2年生がどのような気づきを得るのかを検証するものである。

最初に行ったのは「年齢段階別にみる物語の理解と解釈」を検証する研究である。ボランティア先の津島市立A小学校と名古屋市立B小学校においてさまざまな学年の子ども達に読み聞かせをするとともに、読み聞かせのあとに子ども達の感想を聞き、「幸せ貯金はあると思うか。どうしてあると思うのか」「幸せ貯金はないと思うか。どうしてないと思うのか」の質問をした。また、小学生の回答と比較するために、大学生15名に対しても同じように読み聞かせをして、質問をした。その結果をまとめたものが表2である<sup>6)</sup>。

表2からは次のような発達段階ごとの特徴を見て取ることができる。

小学校1年生では、ルーブリック評価表の第一の観点「幸せ貯金についての理解と批判的思考」において、第一段階に達しているものがほとんどいないということである。また「幸せ貯金はあると思うか」の質問に対し、全員が「ないと思う」に挙手した。全員に個別にインタビューしたわけではないため、なかには幸せ貯金の趣旨を理解できている児童もいたかもしれないが、その場で発言してくれた児童の感想は、「絵がかわいい」「なっちゃんがいい子」という物語の本質とは外れた表面的な印象に過ぎなかった。この1年生のクラスの担任によると、1年生の発達段階においては目に見えないものが「ある」と理解するのは難しいという。

小学校2年生では、1年生に比べて感想の内容がより詳細になっているものの、内容的には1年生と大差のないものであった。しかしながら「幸せ貯金はあると思う」に20名の児童が挙手をし、「(幸せ貯金があったらいいと思うから)」と、幸せ貯金の機能を理解したうえで発言をしていることから、ルーブリック評価表の第一段階をクリアしている児童がかなり増えてきたことを示していた。

小学校4年生では、1,2年生と同じような表面的で素朴

表2 年齢段階別の感想

	1年生	2年生	4年生	5年生	大学生
感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵がかわいい</li> <li>・面白かった</li> <li>・なっちゃんがいい子だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なっちゃんが人のためにやさしくしてよかった</li> <li>・絵が上手で文章もしっかりしてよかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のために役に立っている</li> <li>・なっちゃんが素敵だと思った</li> <li>・<u>幸せ貯金がある</u>といいなと思った</li> <li>・本当にこんな貯金があったらびっくりすると思った</li> <li>・みんな楽しそうでいいお話だ</li> <li>・絵が上手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵が上手</li> <li>・嫌なことがあったら良いことがおこる、連続している</li> <li>・<u>じゃあダメなことし続ければいい</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今朝定期なくして焦ったけどこの話を聞いて私にもサッチーがいるんじゃないかって思えた</li> <li>・本当にいるといいなと思った</li> <li>・人に貯金をあげて自分に返ってくるのがいいと思った</li> <li>・<u>嫌なことがあつても幸せ貯金たまつたからいいやつて自分から努力するのをやめちゃう子になったら困る</u></li> </ul>
幸せちよきんが本当にあると思うか	(0人)	(20人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・あったらいいと思うから</li> <li>・なっちゃんみたいになれたらいいと思う</li> </ul>	(19人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・そういうふうになったらいいなと信じてるから</li> <li>・嫌なことがあつてもいいことがあるから</li> <li>・<u>実際に悪いことがあつて良いことがあつたという経験があるから</u></li> </ul>	(15人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>このまえ嫌なことあつたけどそのあと良いことがあつた</u></li> <li>・骨折したけどお母さんが送り迎えしてくれたから幸せだった</li> <li>・<u>経験したことがある</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いいことが起こると信じているから</li> <li>・ポジティブに生きていたいから</li> <li>・<u>人生プラマイゼロだと思ってるから</u></li> <li>・<u>幸せ貯金みたいなものがあるんじゃないかと思う</u></li> <li>・この話を聞いて良いことも悪いこともあると思った</li> </ul>
幸せちよきんはないと思うか	(全員) <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>今いないから</u></li> <li>・<u>見えないから</u></li> <li>・ないと思うから</li> </ul>	(10人)	(3人) <ul style="list-style-type: none"> <li>あつてもなくて変わらないと思うから</li> </ul>	(15人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんとなく</li> <li>・<u>嫌なことがあつてゲームやつたら充電が切れた</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神様なんていない</li> <li>・<u>アンラッキーなことがあつても別にいいことが起こらないから</u></li> </ul>

注) 読み聞かせでは「しあわせちよきんはあると思うか」「ないと思うか」について挙手してもらい人数を確認した。さらに、「どうしてそう思うのか」について、意見を聞き、挙手した児童の意見を表中に記入した。

な感想も見られるものの、「幸せ貯金があるといいなと思った」「本当にこんな貯金があったらびっくりする」などの幸せ貯金の機能を理解した発言が増加した。そして「幸せ貯金はあると思う」には大多数のものが挙手して、その理由も「実際に悪いことがあつて良いことがあつたという経験がある」というように、自分の経験と照らし合わせて、幸せ貯金がありうるのではないかという解釈を示していた。つまり、「不幸・不運なことが起こっても、それがいつか良いことになって戻ってくることがある」と理解できていることから、4年生ではループリック評価表の第一の観点の第三段階に達するものが出てきていることを示している。

小学校5年生では、「じゃあダメなことをし続ければよい」という批判的な意見が出てきたのが特徴である。「どんな嫌なこと・悪いことでも貯金はたまるのか。自分の不注意や怠

惰によつてもたらされた負の結果においても貯金はたまるのか」というように、この物語を批判的に考察する萌芽となるような意見である。「幸せ貯金はあると思う」には15名の児童が挙手をし、なかには具体的な骨折のエピソードをそえながら、嫌なことがあつたけれど、そのあと良いことが起きたということを説明する児童もいて、ループリック評価表の第一の観点の第三段階に達している。一方、4年生と異なるのが「幸せ貯金はないと思う」にも15名の児童が挙手したことである。その理由として「悪いことが起きた後にさらに悪いことが起きた」という経験を語ったり、「本当に幸せ貯金なんて存在するのか」と批判的に考える児童も出てきているようだ。

一方、大学生では、小学生においては言及のなかった「人に貯金をあげる」という視点についての言及や、「嫌なこと



があっても幸せ貯金がたまっただけだからいいやって自分から努力するのをやめちゃう子になったら困る」という物語を批判的に考察する意見が出たことが重要である。これらはルーブリック評価表の第二の観点「能動的態度」に関するもので、第二の観点については、小学生は第二段階の「不幸・不運なことが起こった時に“幸せ貯金をしたから、きっといいことが起こるはず”と希望を持つことができる」にとどまるのに対し、大学生は第三段階の「主体的に努力したり、負の経験を乗り越える方法について考えたりする」に言及し、また第四段階の「他者にもよいことが起きることを願う」に関連する言及があったということである。また、「幸せ貯金はあると思う」の根拠として、「人生プラマイゼロだと思っているから幸せ貯金みたいなものがあるんじゃないかと思う」というように、自分の人生哲学と照らし合わせてその存在の根拠を示す意見もあった。

以上の考察から、発達段階が進むにつれて物語の理解度が上がることで、小学校低学年では空想上の存在である妖精のサッチーや幸せ貯金について理解することは難しいが、小学校中学年から高学年にかけては、自分の経験と照らし合わせながら幸せ貯金の存在の有無について考察することができるようになること、また高学年以上においては、この物語を批判的にとらえる視座をもつことができるようになることを明らかにすることができた。

## 4 実践研究2：小学校2年生における「特別の教科道徳」での授業

### 4.1 授業の概要

実践的研究のふたつ目は、教育実習先の津島市立C小学校の2年生のクラス（児童数31名）で、この絵本を題材とした「特別の教科道徳」の授業を行い、2年生がこの物語をどのように理解するかを検証するものである。実践的研究その1で明らかになった「小学校低学年では空想上の存在を理解するのが難しい」という知見を生かして、物語の内容を理解させることに重点を置き、そこから「嫌なことがあっても投げ出したいくなる気持ちに負けず、強い意志をもって前に進もうとする気持ちをもつことができる」というねらいを達成できる授業にすることを目指した。

資料1は、この授業のために作成した学習指導案（略案）であり、資料2は授業で用いたワークシートである。この授業では、紙芝居の10頁までを用いることにし、「私たちの生活には嫌なこと・悪いことが起こりうるが、そのとき幸せ貯金をして、それがいつか良いこと・嬉しいことになって戻ってくる」ということを理解することに重点を置き、「自分が使いたいときに貯金を使うことはできない」「人のためにならいつでも使える」という部分については、実習担当の先生の助言をもとに省略することにした。

授業は、児童全員が自分の意見を持ちながら授業に参加できるように、ワークシートに記入してもらいながら進めた。導入で「最近、嫌なこと・悪いことが起きた子はいませんか」と問いかけて児童数名からその出来事について発表してもらったあと、紙芝居の読み聞かせをした。紙芝居の6頁<sup>7)</sup>でいったん中断し、「幸せ貯金とは何か」について確認するために、ワークシートの最初の設問に取り組んでもらった。そして「嫌なこと・悪いことがあったときに今度は「幸せなこと・嬉しいこと」が起きますようにと願ってためていく貯金であることを確認した。次に、7頁まで紙芝居を読み、8頁のところはあえてセリフを読まず、妖精のサッチーがどんなセリフを言ったのかを考えてもらうことにした。そして全員が記入できたところで、隣の児童でペアを組み、なっちゃんや妖精のサッチーになりきってのロールプレイをした。何組かのペアには全員の前でロールプレイを披露してもらい、どんなセリフを考えたのかを紹介しあった。そして授業の感想をワークシートに書いてもらい、最後に授業者から「妖精のサッチーが本当にいるかどうか先生にもよくわからないけれど、嫌なことや悪いことがあっても投げ出したいくなる気持ちに負けず、もしかしたら幸せ貯金がたまっているのかもしれないと思って、前向きに生活していきましょう」とのメッセージを伝え、ワークシートを回収したのち、授業を終了した。

### 4.2 授業の中盤での児童の理解

紙芝居の7頁までを読んだあと、8頁については絵を見せるだけにして、妖精サッチーが「どうして悪いこと・嫌なことがあったあとに良いこと・嬉しいことが起きたのか」の種明かしするところのセリフを考えてもらうことにした。絵本では、セリフは「こんにちは！ なっちゃん、私は妖精のサッチー！ なっちゃんが幸せな気持ちになれるように、嫌なことを幸せ貯金していたんだよ。その幸せ貯金があったから、なっちゃんの周りに幸せなことがたくさん起こったんだよ」であった。ワークシートに記入された児童の考えたセリフを類型化したものが表3である。回答を類型化しながら、内容をルーブリック評価表の第一の観点で評価していった。

その結果、幸せ貯金のしくみについて説明する回答が3分の2を占め、なかには「悪いこと・嫌なことがあると貯金している」だけ、「幸せ貯金があるから良いこと・嬉しいことが起きる」だけの指摘にとどまるものもあるが（第二段階）、「悪いこと・嫌なことを幸せ貯金することで良いこと・嬉しいことになる」という正しい理解（第三段階）に至る記述も8名見られた。一方で、さっちゃんを安心させる優しい声かけにとどまる記述（第一段階）も9名みられ、「妖精だからできたんだよ」という幸せ貯金のしくみには言及しない回答（第一段階）も7名いた。そして、絵本の主題とはまったく異なる的外れなセリフを書いた（第0段階）児童も1名いた。

資料1 学習指導案

第2学年1組 「特別の教科道徳」指導案		
令和2年10月22日(木) 第2時限 指導者 丹羽菜月		
1. 主題	よりよい自己実現と向上心	
2. 資料名	「幸せちょきん」(自作絵本)	
3. ねらい	資料を使って考えることを通して、嫌なことがあっても投げ出したくなる気持ちに負けず、強い意志をもって前に進もうとする気持ちをもつことができる。	
4. 準備	自作絵本「幸せちょきん」 ワークシート 場面カード5 指導課程	
時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ 5分	○最近運が悪かった出来事はあるか考える。	・資料のなっちゃんの様子を想像しやすくするための発問をする。 ・教師の運が悪かった出来事を例にあげ、児童が考えやすいようにする。
考える 20分	○物語を聴く。  ○幸せちょきんの仕組みを確認する。  ○資料の内容を把握する。  ○最後の場面でサッチーが何と言ったかセリフを考える。 ・悪いことがあった分、良いことが起こるよ。 ・幸せちょきんがあるから大丈夫!安心して!	・資料が見やすい位置に移動してよいことを伝える。 ・④の場面まで読み、一度止まって「幸せちょきん」とは何だったか考えさせる。 ・最後まで資料を読み、場面ごとに何が起こったか捉えさせる。 ・最後の場面のセリフを示さずに児童に考えさせる。 ・机間指導をして、児童がどのようなセリフを考えているかを把握する。
深める 10分	○隣同士でロールプレイをし、その後発表する。 (サ) 悪いことがあっても大丈夫! いいことも必ずおきるよ。 (な) ほんと? そう言ってくれてありがとう。気持ちが楽になったよ。	・隣同士でなっちゃん役とサッチー役に分かれ、交代で演じさせる。
振り返る 5分	○本時の感想をワークシートに記入する。	・ワークシートに記入することで本時を振り返らせる。 ・困っている子にはロールプレイの場면을想起させる。
○評価 資料の読み取りを通して前向きな自己の生き方が自覚できる。(発言・ワークシート)		

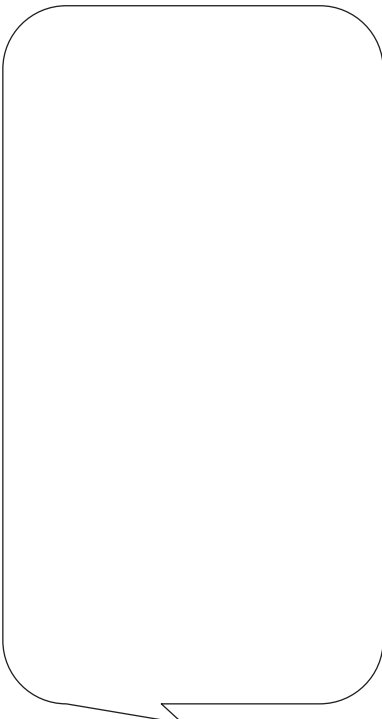
4.3 授業終了時の児童の感想

授業の最後にこの授業の感想を書いてもらい、そこに書かれた内容を類型化したのが表4である。半数の児童が言及したのが「自分にも幸せ貯金があるといいな」という願望であり、次に多かったのが不思議な力をもつ妖精サッチーへの尊敬や感謝の気持ちであった。また授業の中盤には幸せ貯金の機能について完全には理解できていなかった児童が、他者の意見に触れたり、ロールプレイを見たりすることで、「幸せ貯金は悪いこと・嫌なことを貯金して、良いこと・嬉しいことに変えてくれる」という機能を理解し、それについて記述するものもいた。そのなかで特筆すべきは、「人はそれぞれいやなことがあるんだなとわかりました。もしさっちゃんがい

ても、いやなことがおきても、いやなこともときどきしてみたらいいんじゃないかとおもいます。どうしてかという、ともだちの気持ちをわかってあげられるからです。」と書いた児童が1名いたことである。悪いこと・嫌なことは、経験することに意味があるのであり、幸せ貯金が無意識のうちに持つ「悪いこと・嫌なことはネガティブなもの」という前提を批判的に考察する萌芽を感じさせる記述である。

表5は授業の中盤に書かせたワークシート2の内容と、授業終了後に書かせたワークシート3の内容を、ルーブリック評価表の観点1で採点したものである。ワークシート2は幸せ貯金の機能を解説する設問であったため、全員を採点することができたが、ワークシート3は授業の感想であったため、

資料2 授業用ワークシート

○今日の授業を振り返って、考えたこと、思ったこと、学びをまとめてみよう。		○幸せちょぎんとは ・( )が( )なことがあったけれど、今は( )なことが おぼろげな思い出を願ってあげてほしいな ○サッチーはなんといいんだよ。
		〇〇月〇〇日〇〇年〇〇組〇〇名前( )

必ずしも幸せ貯金の機能に言及するものばかりではないため、「今日の授業は楽しかった」というような感想を書いたものは空欄になっている。この表5を見ると、中盤に1だったものが最後に3にあがったものが1名、2が3にあがったものが2名、2が4にあがったものが1名いた。ここから授業のなかに取り入れたペアワークやロールプレイを通して、児童の理解が深まった様子を見て取ることができる。

5 本研究のまとめと今後の課題

我々は「人生には良いことも悪いこともあるけれど、プラスマイナスゼロになるはずだから、悪いことがあったら、きつとそのあとには良いことがあるに違いない」と考えることを信条としている。現在、世界は新型コロナウイルスの感染拡大で大きな影響を受けており、私たちが思うに任せない辛い日々を送っている。しかし自分の力ではどうしようもないこれらの辛いことも、幸せ貯金をしているのだと考え、いつかは嬉しいこと・幸せなことに変わっていくと思えばやりやすことができるのではないか。このコロナ禍のなかで自ら命を絶つ人が増加しているが、このような発想で希望をもって過ごしてもらえたら、命を失わなくても済むのではないか。そういう希望を込めてこの絵本を作った。

教育実習でこの授業を終えた後、熱心に指導してくださっ

ていた先生が「僕は幸せ貯金なんてないと思う」とおっしゃった。先生の小学生だった息子さんは、ご病気で何年も闘病したのちに数年前にこの世を去られたのだという。先生はこの物語を読むと「息子は闘病の苦しいなかで膨大な幸せ貯金をしたまま、幸せを受け取らないまま亡くなってしまった」「子を失うというつらい経験は、幸せ貯金となり、どんなに大きな幸せを運んできてもらっても、埋め合わせることはできないと感じる」と。

我々は、幸せ貯金はあると信じているが、実際には妖精サッチーの仕業は空想上のものであり、実際にはないものを、あるかのように道徳の授業に使うのは正しいことだったのだろうか。深い悲しみにある人に「幸せ貯金ができよかったですね」ということはどんなに残酷なことだろうか。この絵本を作り、授業をすることで深く考えさせられた。

しかしながら一方で、分かり切った道徳的価値を読み物資料から見出すだけの道徳の授業に比べて、みんなで「幸せ貯金はあるか」を議論するほうが、文部科学省が目指す「考える道徳」「議論する道徳」を実現できているのではないかと考える。教育実習の指導案作りにおいて、私は「悪いこと・嫌なことだったら何でも幸せ貯金になるのだろうか」を最後に問いかけて、理解力の高い児童にとっての発展的課題としたいと考えていたのだが、実習指導の先生に、「混乱させる危険があるからシンプルに」というご指導をいただき、

表3 ワークシートの発問2（妖精サッチーのセリフ）の児童の回答の類型

大類型	小類型	人数	具体的な記入例
幸せ貯金の仕組みについて説明する 【ループリック1の第二～第三段階】	第二段階：「悪いこと・嫌なことを貯金している」のみ	3	なっちゃんにサッチーがわるいことをちょきんしていることをおしえた。
	第二段階：「幸せ貯金をすると良いこと・嬉しいことが起きる」のみ	8	わたしはようせいのサッチーだよ。わたしがしあわせちょきんをためているからいいことがおきるんだよ。
	第三段階：悪いこと・嫌なことを幸せ貯金すると良いこと・嬉しいことになる	6	なっちゃんあのね、いいことがおこるのは、なっちゃんがいやなことがあったとき、わたしたちが「しあわせちょきん」っていうのをしてるから、いいことがつづくの。いやなことがあったとき「チャリン」って音がするでしょ、それがわたしたちがやっている「しあわせちょきん」だよ。
さっちゃんを安心させる優しい声かけ 【ループリック1の第一段階】	いいことが起こって良かったね	4	しあわせなことがおこってよかったね。
	サッチーがいるから大丈夫だよ	5	なっちゃんよかったね、いやなことがもうなくなって。サッチーがいるからだいじょうぶだよ。
その他 【ループリック1の第0～第一段階】	妖精だからできたこと	7	わたしはようせいだからなんでもできるんだよ。
	意図したこと以外	1	ぼくがたのしい水ようびにしたい。

※人数は延べ人数のため合計が31にならない。

表4 ワークシートの発問3（感想）の児童の回答の類型

大類型	小類型	人数	具体的な記入例
自分にも幸せ貯金があることを希望	じぶんにもサッチーがいたらいいな／わたしも幸せになりたい	16	このせかいにも、こんなようせいがぼくのところにきてくれたらいいなとおもいました。
妖精サッチーへの関心・尊敬・感謝	サッチーがいてよかった／さっちゃんのおかげ／サッチーはすごい／さっちゃんはおかになにができるのかな	12	この本をみてなっちゃんはいやなことがあるけれどサッチーがたすけてしあわせがおきてサッチーがすごいなとおもいました。
幸せ貯金の機能について	悪いこと・嫌なことがあっても幸せ貯金をすると良いことが起こる	3	わるいことがおきるとういことがおきる事が分かりました。
批判的な検討の萌芽	嫌なことにも意味があるのではないかな	1	<u>人はそれぞれいやなことがあるんだなとわかりました。もしさっちゃんがいなくても、いやなことがおきても、いやなこととどきどきしてみたらいいんじゃないかとおもいます。どうしてかというところ、ともだちの気持ちをわかってあげられるからです。</u>
その他	授業の感想など	6	きょうのじゅぎょうをしたのしかったです。先生がいっぱいいて少しきんちょうしたけれどがんばりました。

表5 授業中盤と授業最後における児童の理解の変化

回答者番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
中盤	3	3	2	1	2	2	3	2	1	0	1	2	2	2	1
最後	3	3	3		3						3				

回答者番号	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
中盤	1	1	1	2	2	2	2	2	1	3	2	1	3	3	1	1
最後					4				3	3			3			



発問を断念した。しかし2年生でありながら「悪いことは経験することに意味がある。人の気持ちを理解できるようになるから」という意見が出てきたことに驚き、もっと子ども達の頭と心を揺さぶる発問をしたかったとも思う。

この研究を通して、教材研究の重要性を感じるとともに、子ども達に伝えるべき道徳的価値とは何で、どのように伝えるのが効果的であるのかを深く考えることができた。この経験を糧に、来春より小学校の教壇に立った時に、よい授業ができるように日々精進していきたい。

## 謝 辞

研究に協力してくださいました津島市立A小学校と名古屋市立B小学校の児童のみなさん、教育実習で熱心に指導してくださいました津島市立C小学校の教職員のみなさまと、一生懸命に授業に協力し、かけがえない思い出を私にくれた児童のみなさんに心から感謝の気持ちをお伝えしたいです。また、絵本を作るうえでケースメソッドB（担当山田真紀）の受講生の仲間たちから有益なアドバイスをいただきました。ここに記して感謝の意を表します。

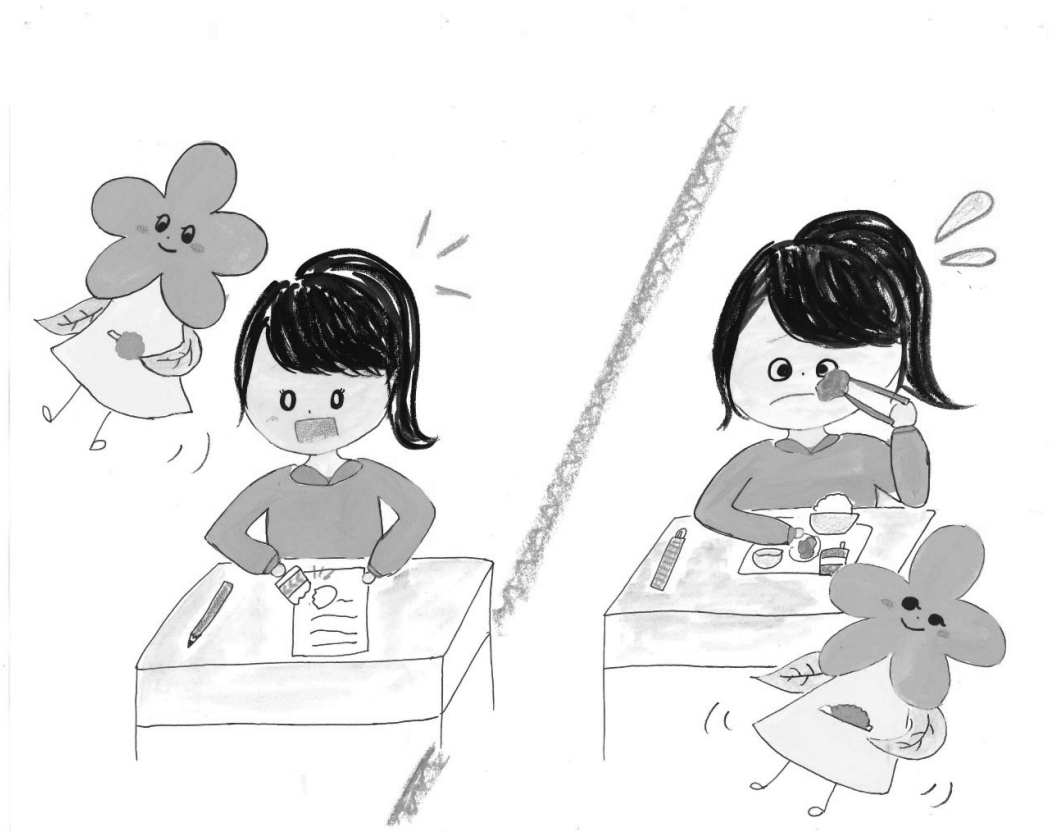
## 付 記

本論文は、丹羽菜月が令和2年12月に椋山女学園大学教育学部に提出した卒業論文『絵本を用いた道徳の授業実践～自作絵本「幸せちょきん」を教材として～』をもとに、指導教員の山田真紀と執筆者の丹羽菜月が加筆修正して作成したものである。

## 注と参考文献

- 1) 文部科学省編、小学校および中学校学習指導要領解説「特別の教科道徳」(平成29年7月版)、第一章「総説」より。
- 2) 子どもとレジリエンスに関する先行研究の整理については、以下の論文に詳しい。中島寛ほか「小学生を対象としたレジリエンス尺度の開発」宮崎大学教育学部紀要、94号、2020年、129-138頁。
- 3) ローレンス・コールバーグ、アン・ヒギンズ他『道徳性の発達と道徳教育』麗澤大学出版会、1987年。
- 4) 寺島と林は、問題解決型学習や学習者構成型授業といった教員からの一方向の講義にはとどまらない学習者の自律性を重視する授業が実施されるようになり、「学習者の学習活動が重視され、評価の対象(何が評価されるか)が曖昧になるため、評価基準を明確にすること」「学習の途中における学習者間の協同過程が重視されるため、最終的な成果の評価だけではなく、学習プロセスを対象とした評価を考へること」が求められると述べている。寺嶋浩介・林朋美「ルーブリックの構築により自己評価を促す問題解決学習の開発」『京都大学高等教育研究』第12号、2006年、63-71頁。
- 5) 西岡加名恵「評価指標(ルーブリック)」日本教育方法学会(編)『現代教育方法事典』図書文化社、2004年、293頁。
- 6) 読み聞かせは津島市立A小学校と名古屋市立B小学校で行った。A小学校では3学年、B小学校では、A小学校で実施しなかった3学年に対して読み聞かせを行い、小学校全学年への読み聞かせができるように努めた。大学生については、椋山女学園大学教育学部3年生のうち山田真紀「ケースメソッドB」を受講する15名に協力してもらった。
- 7) 巻末資料2に絵本のページごとの内容を示している。

巻末資料1 絵本のサンプル



巻末資料2 幸せ貯金の本文

《1頁》

幸せちょきん

あなたは“幸せちょきん”を知っていますか？

《2頁》

小学生のなっちゃんはなんだか悲しそう。そう、今日は友達と外で鬼ごっこをする約束していたのです。それなのに天気は雨。「あ〜あ〜せっかく楽しみにしていたのに……なんでよりよって約束していた日に雨が降っちゃうんだろう。運がわるいなあ」しぶしぶカッパを着て長靴をはいて学校に向かおうとすると……「チャリン」浮かない表情のなっちゃんのもとに何かが現れました。

《3頁》

その正体は……「チャリン！ わたしの名前はサッチー！ 何か嫌なことが起こった時にその嫌なことを次、いいことが起きる時のための「幸せちょきん」として貯めているんだ！ わたしはなっちゃんの知らないところで幸せちょきんをしているよ！ うふふふふ

《4頁》

ほらほらこんな時……！ 大切にしていたお気に入りの消しゴムが折れちゃったり……

「うわあこんなところで折れちゃうなんて……そんなに強く握ってないのに……」

昨日の夜ごはんのメニューと給食のメニューが同じだったり……

「昨日も、今日も……また唐揚げ!？」「チャリンチャリン、さっちーだったらいつも唐揚げでも嬉しいのに」なんて言いながら貯金をしていきます。

《5頁》

授業中「はい！ はい！ この問題簡単！ もうわかっちゃった！」と目をキラキラさせて、手を上げるなっちゃんですが……「はい、じゃあ翔くん！」残念。なっちゃんはあててもらえずまたまた嫌な気持ちに。でも、なっちゃんに嫌なことが起こるとともに幸せ貯金はどんどん溜まっていくのでした。

《6頁》

「はあ〜最近嫌なこと、運が悪いことがいっぱい嫌になっちゃう」落ち込むなっちゃんの姿をみて、「大変！ 大変！ そろそろ私の出番かしら？」となにやらサッチーが動き出しました。

《7頁》

ガサガサ、ゴソゴソ、チャリンチャリン「うんうん重たい……なかなかたくさんありそう!」「よし！ 幸せ貯金使ってみてあげようかな……」といてサッチーはニコニコしていました。

《8頁》

するとそれからしばらくして、なっちゃんの周りにいいことが起こり始めました。

大好きなプリンが給食に出た日にはじゃんけんで勝ってプリンをゲットできたり、

思いがけない友達からお手紙をもらったり、

そしてさらにはなっちゃんがずっと欲しかった鉛筆をお母さんが買ってくれたり、なっちゃんは嬉しいことだらけでした。

《9頁》

「でもちょっとまって、なんでこんなにいいことがたくさん起こるようになったんだろう、いやなことばかり起こっていたのに。」なっちゃんは不思議に思い始めました。

そんななっちゃんの姿をみてサッチーはくすくす笑っています。そして、チラッチラ、なっちゃんの前を何かを通り過ぎました。

《10頁》

目の前を通ったものを見てみると

パアアア キラキラ光を放つサッチーの姿を見つけました。

「こんにちは！ なっちゃん私はサッチー！ なっちゃんが幸せな気持ちになれるように嫌なことを幸せ貯金していたんだよ。その幸せ貯金があったからなっちゃんの周りに幸せなことがたくさん起こったんだよ。」

なっちゃんは驚きと同時にわくわくしてきました。

《11頁》

そして、思いつきました。「え！ じゃあ幸せ貯金が貯まったら自分が使いたいときにいつでも使えたりするの??

例えば遠足の日には絶対に晴れるようにしたり、

給食で私が好きなものばかり出るようにしたり、

あ、体育とかも！ ドッチボールで最後まで残れたり！

こんなことができれば毎日幸せだらけだ〜!」

と目をキラキラさせるなっちゃんですが、サッチーはなんだか浮かない表情をしています。

《12頁》

「なっちゃん、それはできないんだよ……」とサッチー。「自分で貯めた幸せ貯金は自分では使えないんだ……そういう約束なの。」

「そうなの?? えーじゃあたくさんたくさん貯まったらどうするの？ 貯金箱からあふれちゃうよ。」

なっちゃんは思いました。

《13頁》

そして考えました。

学校の帰り道、考え、考え考えながら歩いていると……

《14頁》

1人の1年生の男の子を見つけました。どうやら通学班に置いてかれて困っている様子。

なっちゃんはどうしよう……と考えました。

でも今日は帰ってからすぐ大好きなアニメを見る予定だったんだ……急いで帰らなきゃ間に合わない……するとその時、なっちゃんは思いつきました。「そうだ！ たくさんたまっている私の幸せ貯金、この子にプレゼントできないかなあ？」なっちゃんは男の子を家まで送ってあげることにしました。

《15頁》

そしてなっちゃんは気づきました。

幸せ貯金は自分のためには、好きな時に使うことができないけれど、誰かのためには好きな時に使えるんだ！

《16頁》

幸せ貯金はもしかするとちょっと減ってしまったかもしれないけど、なっちゃんの心はほんわかとってもいい気持ちになりました。